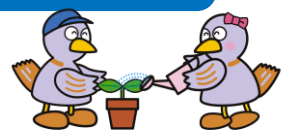


# 平成24年度埼玉県青少年団体連絡協議会

## 研修会・交流会の御案内



埼玉県青少年団体連絡協議会は、県内の青少年団体の活動支援と交流の促進を図ることを目的に活動しています。今年も会員の皆様の資質向上と交流を目的に研修会及び交流会を実施します。ぜひ御参加ください。

### ■研修会

- 日時 平成25年2月9日（土） 午後5時～7時00分
- 会場 浦和ワシントンホテル3階 プリムローズ
- 内容 映画 『隣る人』上映  
講師 菅原 哲男氏（児童養護施設「光の子どもの家」理事長）

### ■映画 & 講師紹介

埼玉県にある児童養護施設「光の子どもの家」の夜明けの風景。キッチンで保育士が子どもたちの朝食の支度を始める。映画はそこから始まる。日々の生活を8年間にわたり追いつけた、フリージャーナリスト集団「アジアプレス・インターナショナル」に所属している刀川和也監督制作のドキュメンタリー映画であり、平成24年度文化庁映画賞記録映画部門大賞を受賞した。

児童養護施設とは、家庭に事情があって家族と暮らすことのできない子どもたちが、生活し、養育される場所である。起きてきた子どもたちが食堂のテーブルについて朝食を食べ始める。玄関から慌ただしく靴を履いて、子どもたちは登校の集合場所に集まり、地元の小学校に登校していく。何の変哲もないいつもの光景。

「光の子どもの家」は1985年4月の開設予定で竣工を急いでいた最中、地元の猛烈な反対運動に遭った。理由は、児童養護施設が来ると地域の学校の教育環境を破壊する、選りすぐりのワルがやってくるということだった。悪質なデマと、自分のところには作らないでほしいという地域エゴを行政の援護を得て乗り越え、同年7月ようやく開設にこぎつけた施設である。

理事長の菅原哲男氏等は「子どものための子どもの施設」を目指してこの施設を作った。支援者の建築家の故黒川紀章氏の設計希望により、菅原氏のニーズをすべて受け入れるということで建物は建てられた。

敷地内には、大ケヤキを中心とした中庭を囲むように普通家屋が三軒、事務棟、職員宿舎、食堂棟があり、他に町内に一般家屋を二軒借り上げグループホームを展開している。普通家屋には一軒一軒に関係者の姓を借りて名前がついていて、一軒ごと責任担当制で家庭的処遇を行う。光の子どもの家が決めた責任担当制にこそ「子どものための子どもの施設」の意義がある。現在の全国の児童施設は職員の労働条件を考えて勤務が交代制に移行しつつある。光の子どもの家は、そういった潮流の中で敢えて子どもの養育を、小さい子は乳児院から受け入れ、高校卒業までの面倒を可能な限り一人の職員に任せるのである。朝も昼も夜も丸ごと子どもを担当するのが責任担当制である。映画は保育士のマリコと彼女が担当するマリナとムツミに焦点を絞って展開する。運動会にはムツミの母親を施設に招き、行事の度にムツミと母親との関係修復に腐心する。祖母と母親。ムツミの生育歴には触れないが、ムツミを実家に帰省させようとする職員の模索の中に家族崩壊の深さを感じさせる。キリスト教をバックボーンにしている光の子どもの家にとって、生命の誕生はかけがえのないものであり、それ故にキリストの生誕であるクリスマスと、それぞれの子どもたちの誕生日は最も祝うべき日である。映画の最後のシーンに描かれるムツミの誕生会で、マリコの言う、「マリコさんもムっちゃんが好きです。もう、どんなムっちゃんも大好き。」と述べる無条件に注ぐ愛情が見る人の心に響く。

### ■交流会

- 日時 平成25年2月9日（土） 午後7時15分～8時45分
- 会場 浦和ワシントンホテル3階 プリムローズ
- 会費 5,000円  
※研修会のみ、交流会のみの参加も可能です。

# 浦和ワシントンホテル案内図



浦和ワシントンホテル

NY 330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂 2-1-19

TEL 048-825-4001